

## 医療体制の危機 ゴールデンウィークが正念場です

兵庫県は**緊急事態措置の対象区域**となりました。

県内では、1日当たりの新規陽性者数が連日のように過去最多を更新するなど、感染が急拡大しています。

入院できない患者が1,000人を超え、医療現場では手術や救急搬送に支障が生じるなど、医療体制は危機的状況です。

今後、人の移動が活発化するゴールデンウィークを迎え、これ以上の感染拡大を防ぐためにも、皆さん自らが「県民の命を守る」との強い思いで取り組むことが不可欠です。兵庫県・県民の皆さん一丸となって乗り切りましょう！

### 外出の自粛

- ▶生活維持に必要な場合を除き、**みだりに外出しないでください。**
- ▶大阪・東京など、県境を越えた**感染拡大地域との往来・帰省を自粛**してください。
- ▶休業または時短営業の要請に応じていない飲食店等には、**絶対に入り**しないでください。
- ▶催し物やイベントへの参加を自粛してください。

### 感染防止対策の徹底

- ▶家庭ではウイルスを「**持ち込まない**」「**広げない**」ための感染防止対策を徹底してください。
- ▶施設や学校ではマスクの着用、手洗い・手指消毒、人と人との距離の確保、換気など、**基本的な感染防止対策を徹底**してください。

### 若い方々のリスクの高い行動の自粛

- ▶路上や公園等における**集団での飲酒**などの行動は**絶対にやめて**ください。
- ▶部活動などの際には、マスクの着用・消毒など**感染防止対策を徹底**してください。

### テレワーク等の推進

- ▶「**出勤者の7割削減**」を事業者に要請しています。在宅勤務や、ゴールデンウィーク中の休暇取得の促進をお願いします。

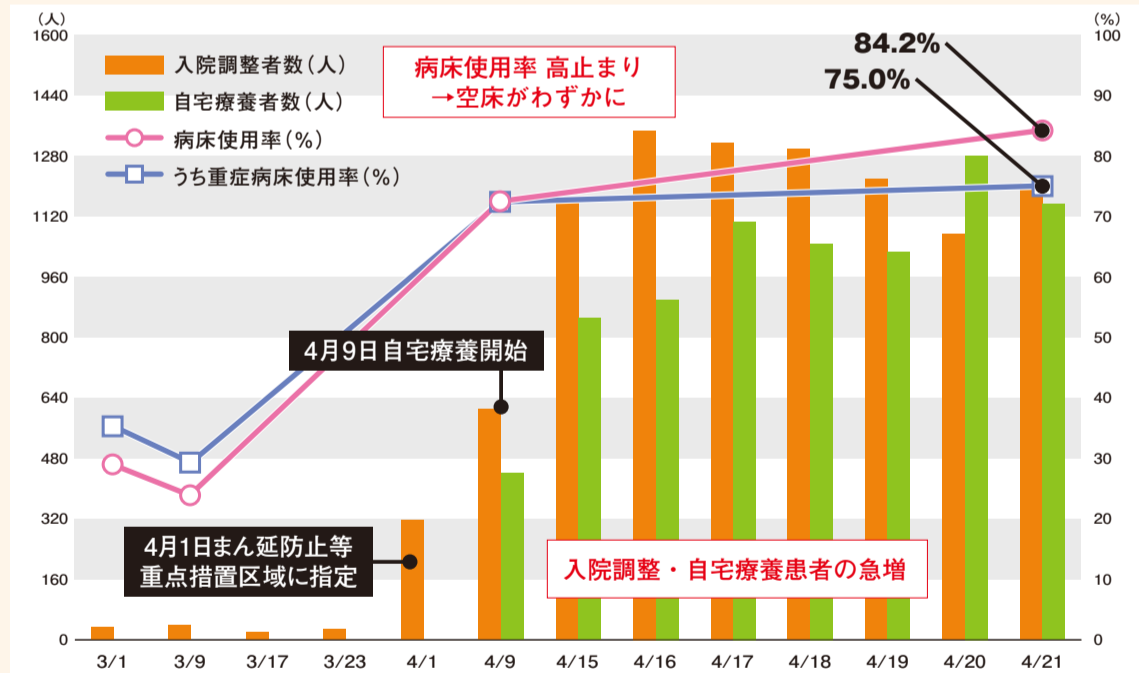
兵庫県知事 **井戸敏三**

## 医療体制の逼迫（自宅待機・自宅療養患者合わせて2,000人を超える）

### 医療提供体制の危機的状況

- ▶新規陽性者が急増。入院病床が逼迫
- ▶医療現場では手術や救急搬送に支障
- ▶入院等を調整中（自宅待機）の患者が1,000人超え
- ▶病床逼迫のため当面の間行っている自宅療養の患者も1,000人超え

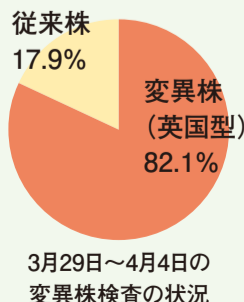
4月21日時点				
区分	確保病床	患者数	差し引き(残病床)	病床使用率
入院	839床	707人	132床	84.2%
(うち重症対応)	116床	87人	29床	75.0%
入院・宿泊療養調整等		自宅療養		
1,405人		1,207人		
入院調整		1,152人		



## 変異株の感染状況と特徴

### 変異株検査の状況

新規陽性者の中から変異株による感染の有無を検査した結果、**約8割が変異株（全て英国型）**に感染していることが判明しました



### 変異株により感染が急増

感染力が高い  
 (従来株の約1.4倍)

重症化リスクが高い  
 回復に時間を要する

陽性者数の急増  
 ▶若年層の感染増  
 ▶家庭内でのまん延

重症対応も含めた  
 病床全体の逼迫

①若年層も含めた**リスクの高い行動の自粛**

②ウイルスを**家庭に持ち込まない、家庭内に広げない**ための感染防止対策の徹底

## 兵庫県では医療崩壊を防ぐため、懸命に取り組みます

### 入院・宿泊療養体制の強化

新規陽性者の急増による医療崩壊を防ぐため、一般医療とのバランスも考慮しながら医療体制の充実を図ります。

- ▶ 確保済みの入院病床839床（うち重症116床）に加え、**96床を増床**し、合計935床（うち重症118床）を確保
- ▶ 県立加古川医療センターの臨時重症専用病棟（12室）を供用開始
- ▶ **宿泊療養施設について、新たに1施設150室**を追加し、合計1,150室程度を確保
- ▶ 自宅待機者等には、医療従事者による訪問診療体制を整備するとともに、希望者に対し食料品・衛生資材を配布するなど観察を強化

### 自宅療養の実施（当面の間）

新規陽性者は入院および宿泊療養を原則としてきましたが、フォローアップ体制を整備した上で、当面の間、自宅療養を実施します。

- ▶ 65歳未満もしくは子育てや介護等の事情がある人が、①無症状または軽症で酸素飽和度（SpO<sub>2</sub>）が96%以上、②消毒など家庭内での感染対策を行えるなど一定の条件を満たす場合は、健康福祉事務所等の判断で自宅療養が可能
- ▶ 自宅療養に際しては、保健師等による相談や、基礎疾患を有するなど特に注意が必要な人へはパルスオキシメーターを活用した家庭訪問を実施するなど、フォローアップ体制を整備

## 兵庫県では休業・営業時間の短縮などの措置をお願いしています

緊急事態措置の実施期間は、飲食店と遊興施設（食品衛生法の飲食店営業許可を受けている飲食店）に対し、休業または営業時間の短縮を要請します。

すでに多くのご協力をいただいておりますが、事業者の皆さんにおいては厳しい状況が続きますが、感染拡大防止のため、次の取り組みにご理解、ご協力をお願いします。

対象地域	対象店舗	要請内容	実施期間	協力金
全県	酒類またはカラオケ設備を提供する飲食店等	休業要請	4月25日④～5月11日④	事業規模（売上高）に応じた支給額
	酒類またはカラオケ設備を提供しない飲食店等	時短要請：5時～20時		

左記の他、施設の使用制限、イベントの開催制限など、詳しくはホームページを確認してください。

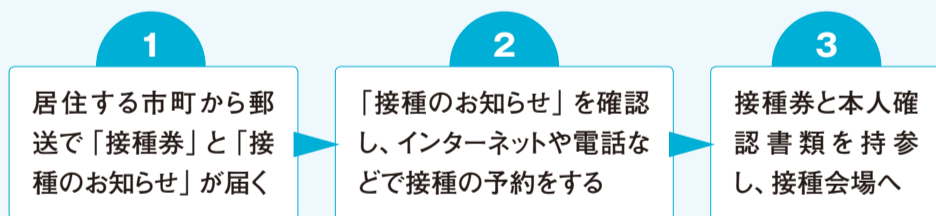
最新情報はこちら



## 兵庫県では新型コロナワクチンの接種が本格化します

5月上旬から、65歳以上の高齢者へのワクチン接種が本格化します。接種により体内に免疫を付け、新型コロナウイルス感染症の発症や重症化を防ぐもので、変異株に対しても効果があるといわれています。接種は強制ではなく、個人の判断に委ねられています。

### ワクチン接種までの流れ



### 接種回数・費用

上腕部の三角筋への筋肉内注射で、同じ種類のワクチンを2回接種する必要があります。いずれも無料です。

### 副反応

新型コロナワクチンに限らず、全てのワクチンにおいて接種後に副反応が起きる可能性があります（接種部位の痛み、37.5度以上の発熱、疲労・倦怠感<sup>けんたい</sup>など）。ただし、その大部分は数日以内に回復しています。このほか、アナフィラキシーなどの副反応に対応するため、接種後15分～30分程度は接種会場で経過観察を行います。

### 新型コロナワクチンの施策について

厚生労働省の  
新型コロナワクチンコールセンター  
☎(0120)761770（毎日9時～21時）

### 副反応等に関する相談

兵庫県新型コロナワクチン専門相談窓口  
☎078(361)1779 ☎078(361)1814  
（毎日9時～17時30分）

県内  
各市町の  
相談窓口



県ワクチン  
対策課  
ホームページ



## 兵庫県では県営住宅の入居要件を緩和しました

新型コロナウイルス感染症の影響により、民間賃貸住宅の家賃を支払える収入がない人などを対象に、初期費用の軽減や入居要件の緩和をし、引き続き募集を受け付けています。入居要件、手続きなど詳しくは④へ。

④県住宅管理課 ☎078(230)8470

### 各種問い合わせ先

#### 緊急事態措置について

兵庫県緊急事態措置  
コールセンター  
☎078(362)9921  
（平日9時～17時）

※5月9日④までは土曜・日曜・祝  
休日受け付けています

#### 営業時間の短縮等にかかる協力金について

兵庫県時短協力金  
コールセンター  
☎078(361)2501  
（平日9時～17時）

#### 発熱等の症状や相談先に迷う場合

新型コロナ健康相談コールセンター  
☎078(362)9980 ☎078(362)9874  
（24時間、土曜・日曜・祝休日含む）

※最寄りの保健所、健康福祉事務所でも相談を受け付けています